第15回日本インターネットガバナンス会議(IGCJ) 2016年9月27日 JPNIC会議室

ネット中立性 (net neutrality)

- 米国の議論とルール化の様子 -

寺田真一郎
Berkeley
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(sterada@berkeley.edu) Center for Japanese Studies, UC Berkeley

目次

(自己紹介)

- 1. 「ネット中立性(net neutrality)」とは?
- 2. 米国での議論
- 3. ネット中立性ルール化
 (まとめ)

自己紹介

寺田真一郎 (UCバークレー 客員研究員)

- ・今回の発表は、厳密な研究結果ではなく、見聞録です。
- ・内容は、所属先の考えとは全く関係ありません。
- できるだけ事実関係だけをご紹介したいのですが、部分的に個人的な意見が 含まれているところがあります。

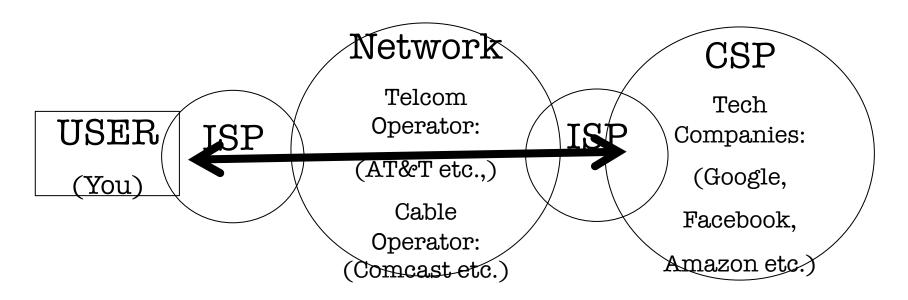


1.「ネット中立性(net neutrality)」とは?

インターネットサービスプロバイダや各国政府が、インターネット 上の全てのデータを平等に扱うべきだとする考え方

(ウィキペディア)

The Internet





1.「ネット中立性(net neutrality)」とは?

Network Neutrality, Broadband Discrimination



(Tim Wu, 2003)

NETWORK NEUTRALITY, BROADBAND DISCRIMINATION

TIM WU

INTRODUCTION

Communications regulators over the next decade will spend increasing time on conflicts between the private interests of broadband providers and the public's interest in a competitive innovation environment centered on the Internet. As the policy questions this conflict raises are basic to communications policy, they are likely to reappear in many different forms. So far, the first major appearance has come in the "open access" (or "multiple access") debate, over the desirability of allowing vertical integration between Internet Service Providers and cable operators.\(^1\) Proponents of open access see it as a structural remedy to guard against an erosion of the "neutrality" of the network as between competing content and applications. Critics, meanwhile, have taken open-access regulation as unnecessary and likely to slow the pace of broadband deployment.

This paper takes a more general perspective. The questions raised in discussions of open access and network neutrality are basic to both

- •Network Neutrality(ネット中立性)という言葉を初めて使ったと言われている。
- Network Neutralityの定義は書かれていない。
- ・ブロードバンドによる差別(discrimination) について書いている
- ・「ネット中立性を促進することは、公正で漸進的な競争を促進させる挑戦と同じである。」



Associate Professor of Law, University of Virginia Law School. I am grateful for comments on this paper from Torn Nachbar, Lawrence Lessig, Mark Lemley, Glen Robinson along with participants at the 2003 Silicon Flatirons Conference and the 2003 University of Ottawa Tory Law Speaker Series. The ideas in this paper were aided by discussions of network neutrality questions with individuals at the Federal Communications Commission and Congress, including Jordan Goldstein, James Assey, Jessica Rosenworcel and Commissioner Michael Copps.

^{1.} See generally-Joseph Farrell & Philip J. Weiser, Modularity, Vertical Integration, and Open Access Policies: Towards a Convergence of Antitrust and Regulation in the Internet Age, 17 HARV, J.L. & TECH. (forthcoming 2003), available at http://repositories.cdilb.org/iber/epc/CPC02-035 (last visited Sept. 24, 2003); Glenn A. Woroch, Open Access Rules and the Broadband Race, 2002 L. REV. MICH. ST. U. DET. C.L. 719 (2002); Glen O. Robinson, On Refusing to Deal with Rivals, 87 CORNELL L. REV. 1177, 1224-27 (2002); Mark A. Lemley & Lawrence Lessig, The End of End-to-End: Preserving the Architecture of the Internet in the Broadband Ear, 48 UCIA L. REV. 925 (2001); Phil Weiser, Paraligm Changes in Telecommunications Regulation, 71 U. COLO. L. REV. 819 (2000); James B. Speta, Handicapping the Race for the Last Mile? A Critique of Open Access Rules for Broadband Platforms, 17 YALE, J. ON REG, 39, 77-99 (2000).

2. 議論のひろがり

ティム・ウー以降、ネット中立性の議論がどんどん広がることに

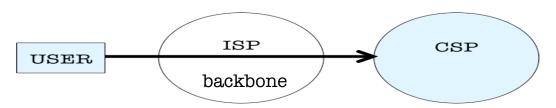
米国のネット中立性議論の特徴

- 1) いろいろな分野で議論が発生。その結果、専門家も一般人も議論に参加。
- 2) どの分野でも、必ず賛成派と反対派(懐疑派)に分かれてディベートが発生。
- 3) ネット中立性の賛成、反対が、ネット中立性ルール化の是非に直結。

議論例1:エンド・ツー・エンド原則(end-to-end principle)

「ネットワークの知能は、レイヤーのトップ、つまりネットワークの「両端(ends)」にあるべきで、ユーザーはそこに情報やアプリケーションを置いている。

(Lemley and Lessig, 2000)



賛成派

「我々は、ブロードバンドのボ トルネックを持つ一つの企業 に、この(e2e)原則を取り消 すことを許すことについては、 懐疑的になるべきだ」

(Lemley and Lessig, 2000)

懐疑派

「ネットワークは中立ではないし、 そうであったことはない」

(Clark, 2009)

「今日のインターネットのサービスは、ただ単にネットの両端にあるわけではない」

(Clark, 2011)





VS

議論例2: vertical business integration

ケーブルテレビ会社の番組を垂直統合するやり方には、消費者の利益を毀損する心配がある。同様に、ISPもコンテンツ(CSP)を統合(選別)するんじゃないかという恐れがある。

賛成派

「ネット中立性は本当に、本 当に重要だ。未だかつて、 ネットのシステムの中であな たのアプリケーション利用を 絞られたことはないだろう。」

(Tim Berners-Lee, WWWC)

懐疑派

「ネット中立性が禁止している垂直統合の関係性は、実際には価格を下げ、アウトプットを増やし、品質を上げるというように消費者に利益があるのだ。」(FTC)





VS

議論例3:イノベーション

ネット中立性の賛成派は、ISPを規制することはインターネット上でのイノベーションとって重要であると主張している。

一方、ネット中立性への反対派(懐疑派)は、強いレギュレーションはインターネット全体のイノベーションを毀損すると主張している。

賛成派

「ネット中立性のレギュレー ションは、イノベーション等の 重要な価値を促進させる」

(Benkler, Schewick, Lessig Wu, etc., 2015)

懐疑派

「ネット中立性によるISPの単一料金設定やISPへの無制限のアクセスは、ネットワークマネジメントのイノベーションを妨げる。」

(Yoo, 2006)



VS

議論例4:言論の自由(Freedom of Speech)

憲法学者、一部の政治団体、フリースピーチの賛同者などが、「言論の自由」 (第1次修正条項)と「ネット中立性」に、強い賛同の意を表している。

賛成派

「FCCが、ISP強いネット中立 性を適用させ、ユーザや、イ ノベーションや、オンラインの フリースピーチを守ったこと は喜ばしい。」

(Barbara Van Schew 2015)



フリースピーチ自体には、誰も 反対できない。

賛成派と、反対(懐疑)派 → インターネットのパイオニアたちも

賛成派 反対派/懐疑派



Law Scholars

- Tim Wu (Columbia)
- Lawrence Lessig (Harvard)

Internet Pioneers

- Vint Cerf (Former DARPA, Google)
- Tim Berners lee (WWW, MIT)







Law / Economics Scholars

- Christopher Yoo (Pensylvania)
- Thomas Hazelett (Clemson)



Internet Pioneers

- Bob Kahn (Former DARPA)
- David Clark (Former DARPA, MIT)









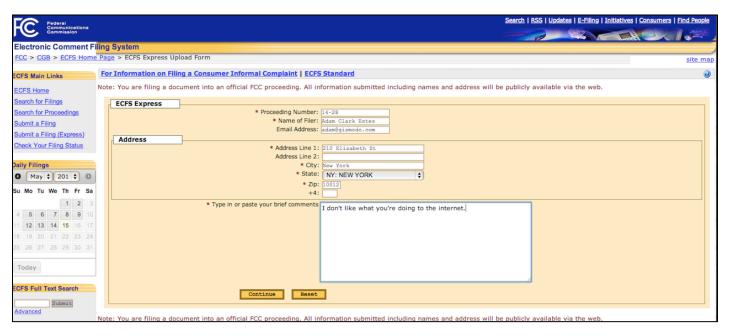








- FCCによる「オープン・インターネット」リプライ・コメントの収集 (2014年7月~9月)
 - 大量(390万件)のコメント受領。
 - ネット中立性への反対派は1%以下であったと言われている。



https://www.fcc.gov/ecfs/filings



2) オバマ大統領によるネット中立性サポートのステートメント (2014/11/10)

November 2014
The President's message on net neutrality:





https://www.whitehouse.gov/Net-Neutrality

- ・ネット中立性を強力に推し進めるよう、FCCに要請。
- ・後にFCCがルール化する概要を全て述べている。
- •Freedom of Speech(言論の自由)については、全く言及していない。
- ・文書では最初も最後もアメリカ経済の話。



3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

朝7時過ぎに来たわけだが、なんと誰も並んでいない。





3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

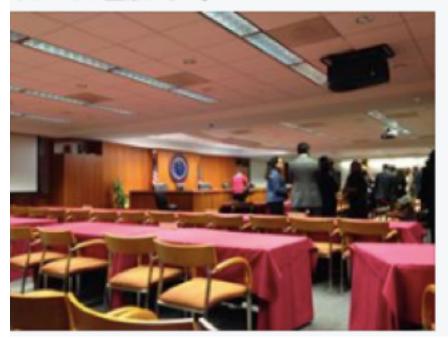
Shinichiro Terada こんな人達もいる。





3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

Shinichiro Terada 中には、入れた。ほとんどリザーブ席なので、ビジターは10 ぐらいしか座席がない。





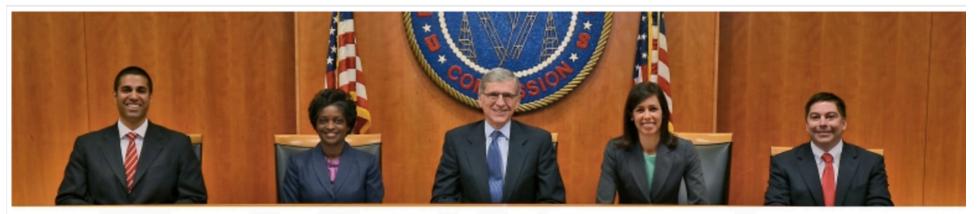
3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

Tom Wheeler委員長が着席





3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26



Ajit Pai Commissioner

Mignon Clyburn Commissioner

Chairman

Tom Wheeler Jessica Rosenworcel Commissioner

Michael O'Riely Commissioner

3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

<u>オープン・インターネット・ルール案</u>

- •ケーブル会社も通信事業者と同じ規制に :タイトルII、リクラシフィケーション
- ・モバイルブロードバンドも、固定ブロードバンドと同じ規制に
- •3つの明確なルール

No Blocking

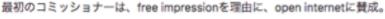
No throttling

No Paid Prioritization

3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

(Clyburn委員)

(Rosenworcel委員)









3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

(Pai委員)

(O'Riely委員)

Shinichiro Terada この人は、ex ante regulationであるOpen internet規制に反対。さらにbroadband taxの危険性、slowBroadband,slow innovationの危険性を指摘。結局、競争が必要と主張。



Shinichiro Terada この方は、とにかくregulationすることに反対。



3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

最後にwheeler委員長が、意見表明。オープンなインターネットを称賛。title 等でfast lane、blockingを否定。





3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

Shinichiro Terada 2人反対、3人賛成で、承認。賛成のうち、2人が、エディトリアルな修正を求めていた。





3) FCC オープン・ミーティング (Open Internet Rules) 2015/02/26

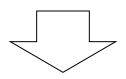
整理すると、

民主党系委員 フリーダム・オブ・スピーチを主な理由に、賛成

共和党系委員事前規制であることを主な理由に、反対

共和党系委員 とにかく規制に反対

最後にTom Wheeler委員長が



アメリカ経済への影響と、自由にユーザやイノベータが 活動できることを理由に、賛成

賛成3 vs 反対2で、承認

(まとめ)



A & 9



寺田真一郎 (sterada@berkeley.edu) Center for Japanese Studies, UC Berkeley

